# 電子の目で見るミクロの世界

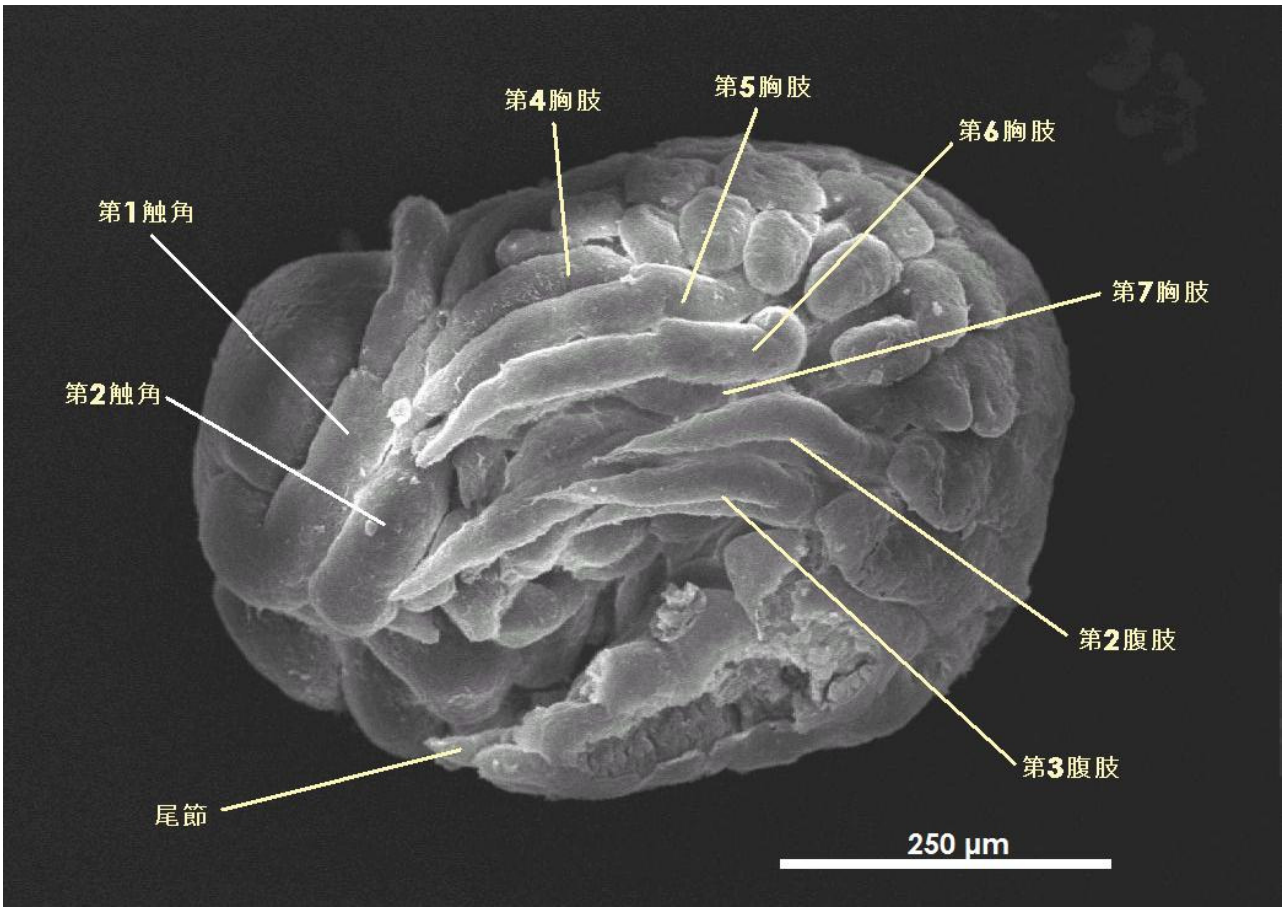
## （パネル展示：身近な生きものたちの不思議）

信州大学理学部生物科学科　1 年生 32 名
信州大学理学部生物科学科　東城研究室

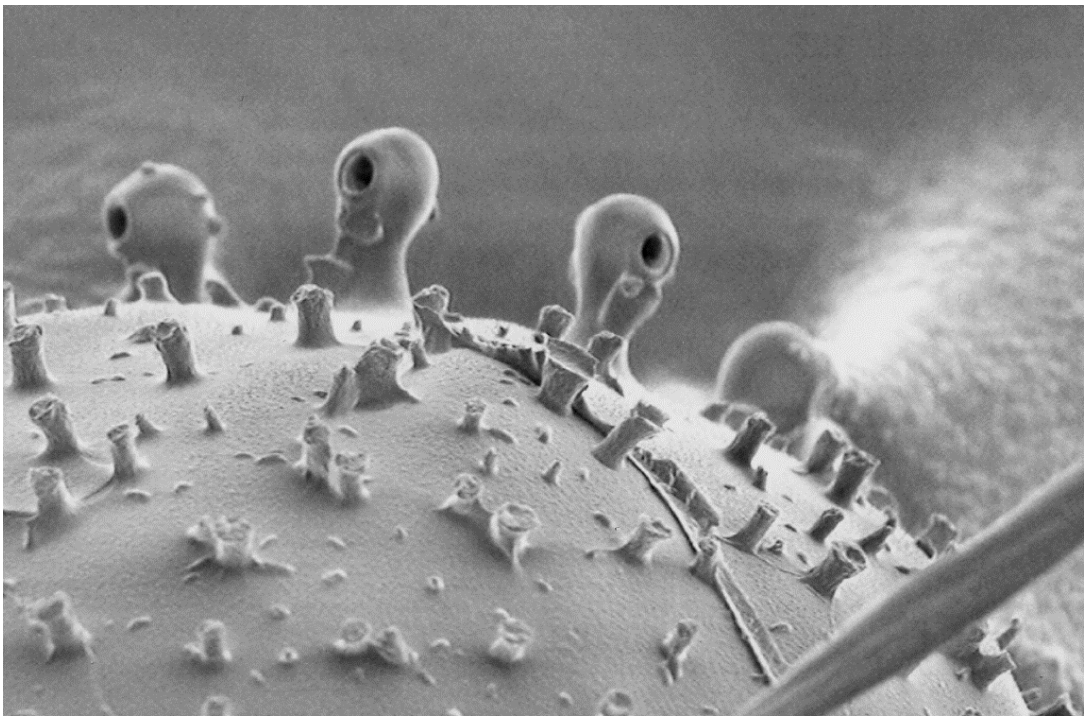
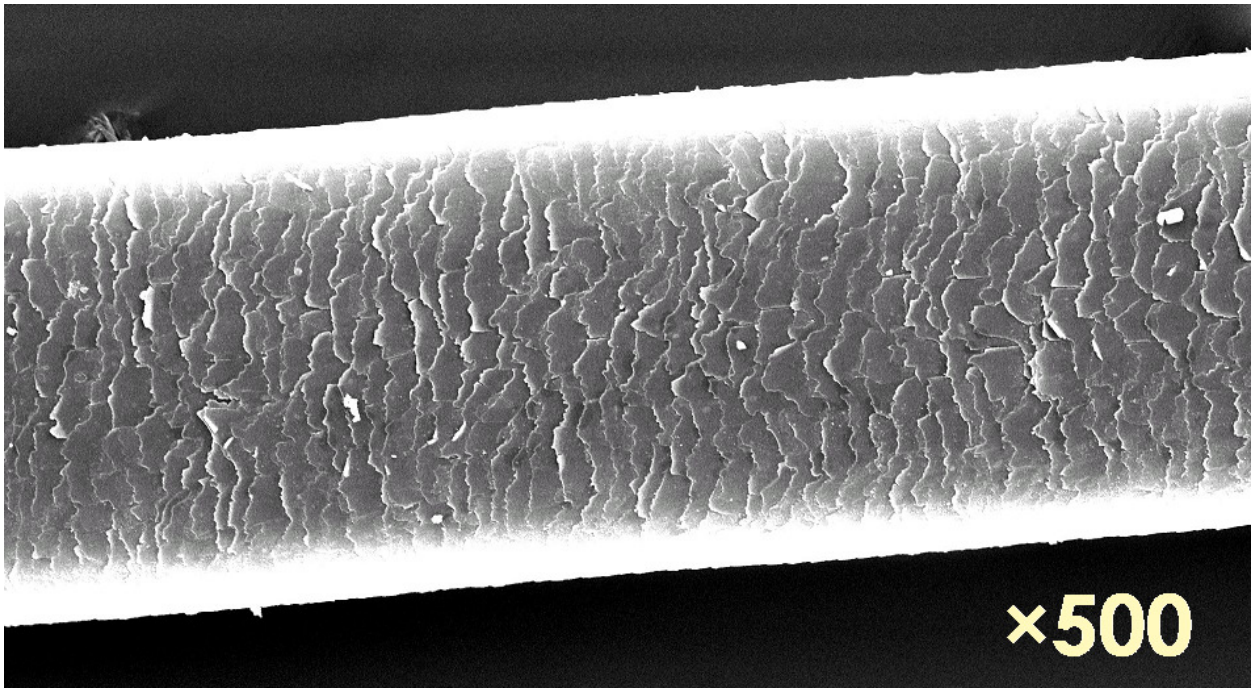
同じタイトル「電子の目で見るミクロの世界」のブースが出展されているので、ぜひとも走査型電子顕微鏡を実体験していただきたいと思います。

ここでは生物科学科1 年生 32 名が実習「生物学基礎実験」の中で課題観察した 8 つのテーマに関する写真をパネル展示として発表します。いずれも「私たちの身近な生きもの」を対象とした観察ですが、普段から見慣れた生きものであっても、スケールを変えて改めて見つめてみると、新たな発見や想像もしなかったような世界の広がりに直面することがあります。

ヨコエビ卵内で形成中の胚



カメムシ卵のエアロパイル（卵内に空気を取り込む構造：孔の大きさはおよそ１ミクロン）



ヒトの髪の毛の拡大写真